

前回審議会の意見への対応状況

参考資料2

第13回下水道審議会 (R2. 11. 6)

頁		意見	対応状況
概要版	P. 2	中段の絵の「挑む」「守る」「営む」「つなげる」「伝える」の色と下図の色があっていない。	修正
概要版 素案	P3~8 第5章全体	目指す将来の姿の説明文の文末が「目指す。」で終わっており、“姿”と整合がとれていない。	文章をすべて見直し
素案	全体	全体を通して読点を多用しすぎでは。	全体を通して見直し、修正
素案	全体	専門用語が分かりにくいので、最後に索引、用語解説をつけていただいたほうが分かりやすい。	巻末に用語解説を追加
素案	全体	住民が見たときに、役所が決めたことを一方できにやらされると感じてしまうのではないか。	P. 5-62に意見を出しやすい環境を整えることを記載。 P. 5-65に県民の生の声を収集するを記載。 P. 6-1に県市町として住民に対し、分かりやすい情報発信をし、興味・関心が持てるよう心掛ける旨を記載。
素案	全体	県民と住民の使い分けが気になる。	県民以外の下流域の府県民等を含める場合は住民と標記をしている。
素案	P. 0-1	3段落目 病気の蔓延を感染症の蔓延に標記変更	表記修正
素案	P. 1-10	汚泥処理について、汚泥処理のリサイクル率を処理場ごとに記載するなどわかりやすくしてほしい。	表1-4追加
素案	P. 1-10	都市浸水対策達成率が全国平均より下回っている原因の分析や、課題の解決に向けた取り組みが書かれていない。	原因を追記 課題の解決策については、P. 5-27に示すとおり
素案	P. 3-2 P. 3-4	最初に課題が来てその後にできたことが書かれているが順番が逆ではないか。最初にできたことを書いて、課題とその説明がないと混乱する。	課題一覧の表3-1、表3-2を項目ごとの評価の後ろに移動
素案	P. 3-3	IV経営管理に広域化・共同化研究会を追記	追記
素案	P. 4-1	背景に④としてSDGsとの関連性を書いてほしい。	④SDGsの採択を追記
素案	P. 4-2	中期の段階での見直し、検証が必要と思われるので、そのことを追記してはどうか。	中間見直しを行う旨を追記
素案	P. 4-3	みんなでという視点が感じられない。住民を追記すべき。	県民を追記

頁		意見	対応状況
素案	P. 4-5	～に倣い→～を踏まえ	表記修正
素案	P. 4-5	地域と琵琶湖を健康に 水質保全の基本インフラであることを また、良好な水環境豊かな生態系が保全された持続可能な～	只友委員の案を採用
素案	P. 4-5	あたりまえの安心 下水道があるとういことが安心であることを書くべき	只友委員の案を採用
素案	P. 5-4	(1)施策の方向性の二つ目、理解を深めるという表現も必要	利用者の意見を取り入れながらを追記。
素案	P. 5-32	・災害時の下水道の利用について市民へ周知することを追記 ・下水道情報と防災情報の関連性が重要であり、下水道をただ知っていただくだけでなく、防災とつなげることを推進する視点を追記 ・全体的に防災の視点から下水道を結び付けて、市民への広報を追記	P. 5-25に災害時のみならず、平常時においても災害情報の発信を行う旨を記載。 P. 5-61に防災情報の発信を記載。
素案	P. 5-61	下水道啓発の拠点が無いのが心配される。拠点づくりを追加してほしい。	現状、淡海環境プラザを拠点として啓発を行っている。 P. 5-64の【滋賀県の現状】に追記（図5-66、67も追加）
素案	P. 6-2	住民の役割に防災の意識を入れるべき。	災害時における役割を記載。
素案	P. 6-3	関連計画があるメニュー、ないメニューの進捗管理の違いが分からない。	関連計画のある、ないに関わらず、グループワーク、フォローアップアンケートは実施するため、区分をなくす。
素案	P. 7-12	SDGsのテーマ17「パートナーシップで目標を達成しよう」と「下水道情報の発信と住民参加」を紐づけるべき。	官・民協働の意識を記載。
素案	第7章	SDGsとの関連について、ビジョンの期間中にSDGsも終わる。無理にSDGsに食らいついているという構図に見える。ビジョンのみんなでという大きなコンセプトだが、県民がビジョンに食らいつく構図が重要。	第7章の構成を見直し。